

2017年度（平成29年度）

研究部門名 数学・情報数理学研究部門

講座名 情報数理論座

教員名 萩原 学

電子メール hagiwara 理 math.s.chiba-u.ac.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト (印刷中を含む)

	著者・発表者 等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・ 号	頁	発行・発表年 等	掲載論文の DOI(付 与されている場合)
(1)	Manabu Hagiwara	Perfect Codes for Single Balanced Adjacent Deletions	ISIT2017		pp.1938-1942	2017/06	10.1109/ISIT.2017.80 06867
(2)	<u>Justin Kong</u> , <u>Manabu</u> <u>Hagiwara</u>	Multipermutation Ulam sphere analysis toward characterizing maximal code size	ISIT2017		pp.1628-1632	2017/06	10.1109/ISIT.2017.80 06805
(3)	萩原 学	Levenshtein 符号 の数え上げの解 説	ICA2018		口頭発表	2018/02	
(4)	萩原 学	挿入削除符号へ 誘う綺麗な構造	実験計画法と 符号および関 連する組合せ 構造 2017		依頼発表	2017/07	
(5)	萩原 学	ワイル群のミヌス ク元からの挿入 ／削除の拡張	京都大学数 理解析研究 所、共同研 究、表現論と 組合せ論		口頭発表内容 をまとめ、講究 録へ投稿中	2017/10	
(6)	萩原 学	挿入削除誤り訂 正符号の数学的 に綺麗な性質に ついて	電子情報通 信学会ソサイ エティ大会		依頼講演	2017/09	
(7)	<u>Justin Kong</u> , <u>Manabu</u> <u>Hagiwara</u>	Binary Multipermutation Ulam Sphere Analysis	SITA2017		pp.1-6	2017/12	

(8)	萩原 学	バランス隣接挿入 ／削除誤りの性質	SITA2017		pp.7-12	2017/12	
-----	------	----------------------	----------	--	---------	---------	--

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究                   0名
- ・大学院修士                1名
- ・大学院博士                1名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

学会や科学論文誌等で発表されたばかりの注目すべき話題を、積極的に取り入れている。

(4) 国際会議出席と招待リスト

- ・ The IEEE International Symposium on Information Theory, Gernamy, 2017年6月25日-30日, Perfect Codes for Single Balanced Adjacent Deletions, Manabu Hagiwara
- ・ The IEEE International Symposium on Information Theory, Gernamy, 2017年6月25日-30日, Multipermutation Ulam sphere analysis toward characterizing maximal code size, Justin Kong and Manabu Hagiwara

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体, 報道年月日, 報道内容等）

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名, その内容, 受賞理由等）

(7) 国際共同研究（共同研究名, 研究内容等）

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

(9) 特許（発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等）（現時点で公表できるもののみ）